

西菅小コミュニティだより

寒暖を繰り返しながらも、学校西門の梅の花に春の気配を感じたこの日、今年度最後となる第3回目の学校運営協議会が実施されました。今年度を総括した報告が共有されました。また、「6年生ありがとう集会」の様子を参観し、曇り空を吹き飛ばすような、子どもたちの明るく元気な声が体育館に響いていました。

【第3回西菅小学校学校運営協議会】

日時 令和8年2月25日（水）9時30分～11時30分 参加者：委員11名（内、教職員3名）

1 会長あいさつ（米田会長）（一部要約）

こども文化センターへ行ってきた。「川崎市子どもの権利に関する条例」というものが実は母子手帳の中に書かれていることを知らない人が多い。こども文化センターでは子どもが参加して意見を述べ、学校がフォローするという会議もある。西菅小学校はきめ細かくフォローされていると感じる。先日の安全安心お礼の会では、6年生におもてなしをもらった。学校も国際化が進んでいることも感じ、国際理解も大事だと思った。

2 学校長あいさつ（一部要約）

- 今年度は、コミュニティ委員の方々にも授業に入っただき、とても助けられた。
- PTA が休止となる。本部役員の成り手がいない。運動会のプレゼントや入学時のお道具箱、防災用の水などPTA の会費で賄っていたものがなくなる。規約を変えたりしないといけない。このような状況は他の区でもみられてきている。
- 学校報告会での報告内容について：①学校教育目標は変わらず。②学校アンケートから。「かしこく」：子どもたちはギガ端を利用して発表することが多くなり、自分の考えを表現できるようになったという点で満足度が高かった。今年度は川崎市教育委員会の委託を受けて研究推進校として社会科と生活科を中心に校内研究を進めたが、子どもたちが自分たちで課題を見つけ、考えることに関して効果的出会った。先生方もチャレンジし、他校からも多くの先生方がみえた。図書室利用や読書についても「西菅読書に親しむ時間」など昨年度に引き続いて有意義な取り組みであった。「心豊かで」：挨拶についての満足度は、子どもたちと保護者、教職員では異なっており、大人が思う以上に子どもたちは進んで挨拶できていると回答していた。「たくましく」：子どもたちも保護者も、地域の大人から守ってもらっている感覚が大きい。休み時間に外遊びをするかどうかは、過ごしたいことがそれぞれ異なることが回答にも影響していた。免疫力の向上については健康委員会の活躍もあり保健室前の「めんえ木」など西菅小学校の取り組みには教育委員会も注目している。子どもたちが自主的に取り組んでいる。ただ、長縄などで体力作りを目指したりしたが、長縄が嫌いな子どももいる。体力作りは続けて課題。③「人権尊重、支援教育の充実」について。いじめについては早めに対応する。支援教育についてはインクルーシブ教育を実践し、音楽や身体を動かすことを低学年で実施。初めての国際学級懇談会には全員の保護者がいらした。日本語が全く話せない子どももいる。3ヶ月ごとに開催する。④「積極的な発信」について。学校ホームページに、子どもたちの姿や学びの様子を載せている。アクセス数も高く、評価をいただいている。コミュニティスクールも4年目を迎え、活性化している。⑤「来年度の方向性」校舎壁面塗装改修工事が始まる。緑を基調としたカラーに。学校のメッセージ付電話の設定時間を30分早めて17：00から翌8：00とする。2年目となる社会科の研究推進校として市内の教員にむけて、主催校として授業を公開する。「共に生きる」の学校目標の具現化として全学級で「友達のいいところ一覧表」を作成。1年かけて全員が見つけていく。給食は無償化となる。回数も増加（新学期などの給食スタートが早まる予定）。⑥保護者アンケートの結果のまとめも共有された。指導のきめ細やかさ、異学年交流や良好な人間関係の構築、ホームページなどで毎日の様子が可視化され家庭との信頼関係の深まり、地域に根ざした体験などが良かった点として挙げられた。気になる点として、放課後のトラブル、体力向上への取り組み、学習環境のさらなる安定、などがあり、それに対して現時点では、保護者や地域との連携、相手の気持ちを考える指導、「かわさきキラキラチャレンジ」やホームページの「保健室のページ」の立ち上げ、複数教員によるサポートなどが挙げられた。

3 6年生ありがとう集会参観 次ページ参照

4 児童より（計画委員会による動画）

- 計画委員会：冬の挨拶運動、各種募金活動の報告。目安箱の設置など、協力してやり遂げた。
- 放送委員会：放送音読カードで上手くなるよう工夫。給食の放送や、時間で行動できるような放送など実施。
- 健康委員会：食事、運動、睡眠を大事にすることを呼びかけ、「めんえ木」大きくなった。運動について目標カードも作った。日本一輪車協会から新しい一輪車をいただいた。新たなロゴも作成。
- 図書委員会：本の貸し出しと返却、図書室の環境整備を実施。本のポップやおみくじ（借りるとできる）など行なった。
- 環境委員会：冬のスタンプラリーを実施。掃除のやる気アップを応援したり、種団子を作ったりした。「タネゴロー」という公式キャラクターも作った。自然への探究心を深められたと思う。
- 代表委員会：委員会活動のほか目安箱を設置。議題にして話し合った。校舎の色の投票を実施。より良いものを目指す委員会に近づいてきた。

5 ご意見・ご感想（一部抜粋）

●小学生の成長は素晴らしい。先生達の努力に感謝。協力できるところはしたい。また声をかけてほしい。
●子ども達の成長には学校を訪れる度に感動している。委員会の報告も、こういうことができるんだな、種をいっぱい蒔いていると。挨拶も心がけていることがわかる。近所でも挨拶をしているがこういうふうに繋がっていくのだなと。集会はどの学年も素晴らしかった。●校内授業研究会に出席したが「共に学ぶ」様子が伝わってきた。子どもの考えが自由に活かせるようになっている。伸び伸びとした姿が見られた。「地域と共に考える」様子、地域と関わっている。●集会の2年生発表の「6つの感謝」に思いが詰まっていた。福祉のつどいでは寸劇をしてくれた。西菅小は少人数の良さが見えてとてもよかった。●PTAは次年度の本部役員不足で休止となる。地域の皆さんやボランティアでも少しずつ増えて細々とでも活動できたら良いと思う。●保護者として関わり、子どもの成長を目の当たりにできること、学校での教育の中で子どもの成長を感じられることがあった。地域の方々の見守りとご尽力に感謝。●6年間の子どもの成長はすごい。目の当たりに見えるのが小学校のすごいところ。6年生は立派。ここまで来るのに先生方のご尽力は並大抵のものではないだろう。地元の施設を担当するものとして、参加できるのは良いこと。●上の学年が下の学年を見る。「自分たちしかできないこと」を自分たちで考える。学校のことなど子ども達のためになることはしていく。●6年生の歌が素晴らしかった。成長ぶりが素晴らしいし、誰一人としてしらける子がいない。学校の成長も先生方の努力の賜物。何か応援できることがあればしていきたい。●コミュニティスクールに関わる地域の方々には今年度4月から学校にお越しいただき多方面で助けられた。今年度の6年生は入学時にコロナで入学おめでとう集会はできなかった学年。お別れ集会はのびのびとできた。数年でこんなに変わる。コミュニティスクールにも支えてもらっている。

（記録：コーディネーター 小幡 仁美子）

<「6年生ありがとう集会」の様子>



1年生と手を繋ぎ5年生の花の輪をくぐって入場。



1年生が6年生のため「きらきらぼし」演奏♪
6年生を巻き込んだ、素敵な振り付けつき☆



2年生は「修行中のニシスゲンジャーJr」として登場。
「6年生に伝えたい6つの感謝」を披露！
「西菅ビーム！」は6年生に届きました。



3年生は「にしにしフレンズクイズ」。6年生は
「激ムズ問題」に苦戦！
ランドセルでの「おめでとう」文字も大成功！



4年生は「チャレンジ」を歌い、6年生への感謝とエールを送りました。



5年生は「キリマンジャロ」を合奏。
手拍子が全体に広がりました。



6年生が、5学年それぞれにお礼を伝える。最後に
歌のプレゼント🎵



校長先生「皆さんの受け取る気持ち温かい。残りの
学校生活も良い時間を」